



支援便り

令和5年8月発行 第2号
串木野特別支援学校 支援部

「特別支援教育夏季セミナー」を開催！

7月26日（水）、朝から太陽の日差しがジリジリ照りつける中、「令和5年度特別支援教育夏季セミナー」が開催されました。今年度は、昨年度より多い定員で御案内したところ、申込みが45人あり、当日の欠席者3人を除く計42人（園9・小26・中5・高2）に来校していただきました。前半は、やまびこ医療福祉センターの言語聴覚士 上嶋恵理先生をお招きし、巡回相談でよく話題になる読み書き支援について、講話をしていただきました。そして後半は、9グループに分かれて情報交換会を行いました。



〈講話〉 「読み書きに困難を抱える子どもへの支援」 上嶋恵理先生



読み書きをメインに学習障害についての基本的な理解や現状、姿勢や板書、読み方、書体などの環境支援のあり方、個別支援に活かせるグッズやアプリの紹介など具体的な事例も交えながら、分かりやすく丁寧にお話していただきました。

特に、一人一人に合った学び方を見付け、一人一人に合った支援をしていくことが大事だという学び方の多様性についてのお話は、私達が普段、園・学校で見ている子供たちの行動や姿の背景を考える際に大切にしたい視点だと思いました。



【アンケートより一部掲載】

「音韻の発達や読字、書字の構造など整理することができた。また、様々な検査や支援の方法を学ぶことができたので、子供に合った最適な方法を模索したいと思った。」

「具体的な支援方法（グッズ、アプリなど）を知ることができてよかったです。大変勉強になりました。学校に戻って他の職員へ知らせたい。」

「幼児に向けた遊びの中で行える言葉遊びなどもあり、保育の中で実践していきたいと思いました。」

「自分の学級の子供たちのことを考えながら話を聞くことができました。困難さの原因、対応の仕方などを学ぶことができ、とても参考になりました。」

「具体的な指導を教えていただき有り難かった。2学期から子供の実態に合わせて活用したい。出校日に机・椅子の高さをチェックしたいと思います。」



〈情報交換会〉

講話の後は、参加者に9グループに分かれてもらい、本校の職員が進行役を務め、それぞれの学校・園の現状や課題を中心に情報交換会を実施しました。どのグループも活発な意見交換がなされていました。ネットワークづくりの場にもなったようです。



【アンケートより一部掲載】

「それぞれの先生方が、様々な方法で支援されていたためとても勉強になり、自分も取り入れたいことがあったので、実践してみたい。」

「経験ある先生方からたくさんアドバイスをいただけたので、2学期から活かしていきたい。」

「他校種の先生方に現状をお聞きすることができてよかった。」

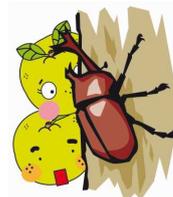
「同じような悩みがあることが分かり安心したとともに、解決策を探ることができよかった。」

「本校のケースを自分とは違う視点でとらえてくださり、意見をいただいたことがすごく参考になった。」

～各グループで話題になったこと～

- ・ 気になる子供への関わり方（自閉症，多動，言葉が不明瞭，不登校，集団の中で，個別など）
- ・ 読み書きの困難な子の具体的な支援策について（個々に合わせたプリント，アプリなど）
- ・ 暴言・暴力や飛び出しなどに対する対応策について（関係機関との連携，校内支援体制など）
- ・ 交流学級と特別支援学級との関係性について（時間割，友達関係，他の子供への理解啓発）
- ・ 異年齢やタイプの異なる児童が複数いる時の学習の進め方について
- ・ 就学，早期療育，保護者との連携について
- ・ 高等学校での「専門科目の学習支援」について
- ・ 高校入試の際の合理的配慮
- ・ 自立活動の内容について
- ・ 作業的な生活単元学習の内容について
- ・ 家庭学習の取り組み方について

など



セミナーの運営全般に関して、「とても有意義な研修会でした。」「書籍・教材展示などもあり，参考になりました。」「来年もお願いします。」など，開催してよかったと思えるような感想をたくさんいただきました。これからも地域の特別支援教育のセンター的役割を果たせるよう努めて参ります。